

## 見直し後の総合計画に対する意見一覧

区分	ページ又は項目名	意見 又は 質問	修正内容等
①序論	1	表の位置を、内容が文書構成の中で重要であるなら2段落目「しかし・・・」の後ろにする。または、参考資料としての位置付けなら文章の最後にしてはどうか。	P3について、表の位置や表現等を改めました。
	2	全体の中での「市」という言葉の意味、使い方を統一すべき。	
	3	【P3】はじめに（総合計画の策定にあたって） 「これらの状況を踏まえると」とあるが、これだと社会潮流の変化のみが総合計画の見直しの要因となっているが、見直しの過程での検証の結果も要因としてあるのではないか。	
	4	「新たに策定する」とあるが、第3次計画の見直しという認識で進めてきており、まったく新しい計画を策定するというような表現は適切ではないのではないか。	
	5	【P4】吹田2020ロードマップとは 図の意味するところがわからない。将来像が押し込まれた感じになっていて、将来像に必要な明るく、未来に向けたものというイメージがない。	
①序論	6	「市」という言葉の意味、使い方を統一すべき。	P9について、内容を大幅に見直しました。
	7	「意志」は「意思」の方が適切ではないか。	
	8	「計画」とは何か。	
	9	【P9】第1章 総合計画の位置づけと役割 「計画の進捗管理の道標」とあるが、進捗管理を総合計画ですということか。	
	10	「最上位計画としての指針」とあるが、総合計画は指針（ガイドライン）ではないのではないか。	
	11	総合計画は議決を要する最上位の計画であるということは、第1段落で書くべきではないか。	
	12	【P18】（3）社会の多様性の尊重 例えば、インクルーシブなど、一般的に馴染みのない言葉はできるだけ使わない方が分かりやすいのでは。	無くても文章の意味は変わらないので、「インクルーシブ」は削除します。
	13	【P21】（6）ICTがもたらす産業・社会の 変革 「クラウド・コンピューティング」という言葉について、一般化している表現と思われない。	私たちの生活を便利にする重要なICT技術であり、将来的には普及すると考えられることから、このまま使用します。
	14	「福祉」に関する記述が読み取れない。	（3）の表現等を見直しました。また、P30の基本方針、P32の基本目標（施策体系）も修正しました。
	15	【P23】4. まちづくりの主要課題 「・・・ことが求められています」という表現について、課題として認識してほしいのであれば「・・・する必要があります」と積極的な表現にすべき。「求められている」というのは受身的な表現に聞こえる。	「・・・する必要があります」で統一します。
	16	まちづくりの主要課題(P23)とまちの将来像(P25) まちづくりの主要課題(P23)と将来像への基本方針(P30) とは課題と方針ということで関連性はあるのか。	まちづくりの主要課題に対応し、各基本方針に沿ってまちづくりを進めていくという関連性になっています。
17	（1）から（7）までの順番の付け方は整理をされた方がよい。	基本的に基本方針の順番と整合を図りました。	

## 見直し後の総合計画に対する意見一覧

区分	ページ又は項目名	意見 又は 質問	修正内容等
② 基本 構 想	18	「産業のまち」「住宅のまち」「楽しめる都市空間」について、項目名は「住」「働」「楽」となっており、また、まちの魅力三原色の図の順番だと「住宅のまち」が最初にくるべきではないか。	タイトルの順番に合わせ「住宅のまち」と「産業のまち」を入れ替えるとともに、表現を見直しました。
	19	吹田市は「住宅のまち」というのが共通認識のはず、産業・レクリエーション施設の集積という表現は実態を表していない。	
	20	「産業のまち」について、吹田市には「産業」の機能が強く集積しているということの特徴として出していくべきではないか。	本市は事業所の開業率が高く、活発な産業活動が行われていることから、「産業」の機能の高い集積があるとしています。
	21	「職遊融合」「住遊近在」という表現については、あまり聞かない表現で、不自然に感じる。	まちの魅力三原色（「住」「働」「楽」）が織り成す状態をこの言葉で表現しています。
	22	「住む」「楽しむ」「働く」というのが、3原色になっているが、暮らしという広い視点で、吹田の地域資源としてどういったものがあるのか考え、もっと深みのあるものにできないものか。 暮らしということでは、「安心安全」「福祉」「環境」様々な側面がある。	まちの将来像のリード文で表現します。
	23	【P27】第1章 まちの将来像	グローバル化が進み、これからのまちづくりの人材を考えた場合、新たなものの創造、イノベーションということでは、国際人を育てるという視点は大切である。
24	【P28】1. 人口	人口について、住宅都市をめざすような書きぶりとなっているが、産業集積を進めるという視点は考えていないのか。	「多様な交流による都市の活性化」という表現にその意を含んでいます。
25	【P30】第3章 将来像への基本方針	ルートというのは、レールが敷かれた道のようなイメージがあり、どちらか言うと目標ではないのか。	計画をロードマップ、将来像までの道筋をルートと表現しています。
26	【P30】ルートV	「地震や風水害」とあるが、同じ表現がP31のルートVIの1行目にもあるので精査が必要ではないか。	ルートVIの表現について見直しました。
27	【P32】第4章将来のまちのイメージⅢ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-5、Ⅲ-6	Ⅲ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-5は、「社会が形成されています」や「環境になっています」という第三者的な表現になっているが、主体性をもったメッセージにした方がよいのでは。 Ⅲ-6は、ハード面、ソフト面の両方で、生涯スポーツ社会をめざすというのが最終目標であり、このままでよい。	それぞれ、目標とするところを考え、Ⅲ-3、Ⅲ-4は、「成長できる社会が形成されています」⇒「成長しています」 Ⅲ-5は、「学べる環境になっています」⇒「学んでいます」 Ⅲ-6は、男女共同参画社会のところと表現を合わせ ⇒「生涯スポーツ社会になっています」に修正しました。
③ そ の 他	28 総合計画全般について	財政の状況、経営資源が限られる中で、どこに力をいれるのか。メリハリのあるものにするのか。満遍なくということにしてしまうと、他市と比べて埋もれてしまうのでは。そういうことでは、まずビジョンが必要。	重点、メリハリの必要性など、今後、基本計画の検討の中でご議論いただきたいと思います。